

ひょうご橋守隊

(平成29年度版)

1 『ひょうご橋守隊』とは

道路橋点検士、技術士、コンクリート診断士等の資格を有し、道路橋に関する高度な技術力を有する県土木技術職OBによるボランティア団体で市町橋梁の点検支援活動をしています。

【背景】

老朽化した社会資本の急速な増加は、我が国全体の大きな問題となっています。

しかし、県内の市町においては、技術職員の不足や厳しい財政状況により、早急な補修対策が極めて困難な状況にあります。

【目的】

このため、公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センターでは、県内市町を総合的に支援する公的機関として、平成27年3月に創設された『ひょうご橋守隊』を市町インフラ老朽化対策の一貫として支援しています。



『ひょうご橋守隊』総会 (H29年5月31日)

2 支援概要

市町においては、5年に1回の定期点検により損傷が確認された橋梁は、長寿命化修繕計画に基づき計画的な修繕や架替えを予定しています。

しかし、計画的な修繕や架替えを行うまでの間、橋梁の安全性を確保することが必要となります。

そこで、『ひょうご橋守隊』を派遣し、損傷状況の経過観察を無償で代行することにより、市町が管理する橋梁の適切な維持管理を支援しています。

橋梁の状況	健全度10未満
点検頻度	5年／対策まで1年
1年	定期点検
2年	経過観察
3年	経過観察
4年	補修対策 点検確認
5年	↓ 2年
6年	定期点検

『ひょうご橋守隊』による支援頻度のイメージ

ひょうご橋守隊による支援

3 活動状況

平成27年度は、隊員16名で10町（106橋）、平成28年度は、隊員22名で15市町（244橋）の経過観察を行いました。今年度は、隊員を35名に増員し、8班体制で特に技術職員が不足している13市町（269橋）に対して活動する予定です。



『ひょうご橋守隊』活動状況

市町名	平成27年度 観察橋梁数	平成28年度 観察橋梁数	平成29年度 (予定)観察橋梁数
豊岡市		65	51
養父市		39	54
川西市		11	22
加西市		21	13
西脇市		8	6
稲美町	6	1	0
播磨町	4	4	0
神河町	8	10	6
市川町	29	27	27
福崎町	8	6	11
香美町	5	13	14
太子町	4	5	12
上郡町	8	6	6
佐用町	29	27	45
多可町	5	1	2
合計	106	244	269

活動実績橋梁数一覧



4 活動成果

『ひょうご橋守隊』は、観察した結果を右のような活動報告書としてまとめます。また、年度末には市町を訪問して結果を報告しています。

特に、下記のような橋梁については、直ちに市町に報告するとともに、対策について助言を行います。

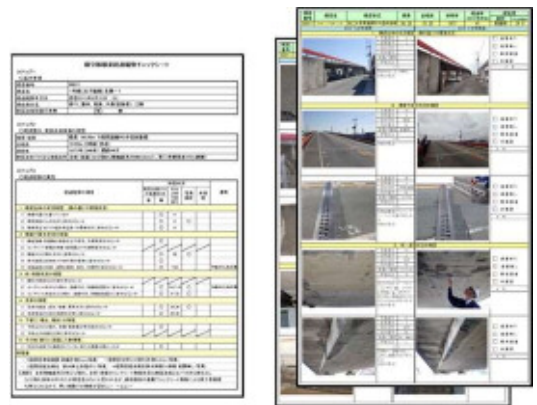
しかし、対策の判断が困難な場合は、センターの技術顧問を通じて、専門的な指導や助言を行います。

- ・明らかに通行の安全性が確保できないもの
- ・深刻な劣化が急速に進行しているもの

これまで、経年劣化による腐食やひび割れ等若干の進展は見られましたが、多くの橋梁の安全を確認することができました。

しかし、なかには、定期点検時点と比べ急速に劣化が進展しており、応急対応が必要であると市町に報告し、対応していただいた橋梁もありました。

このような『ひょうご橋守隊』の活動は、国土交通省で募集された「インフラメンテナンスに係るグッドプラクティス」に選ばれました。



活動報告書(左:チェックシート、右:写真帳)

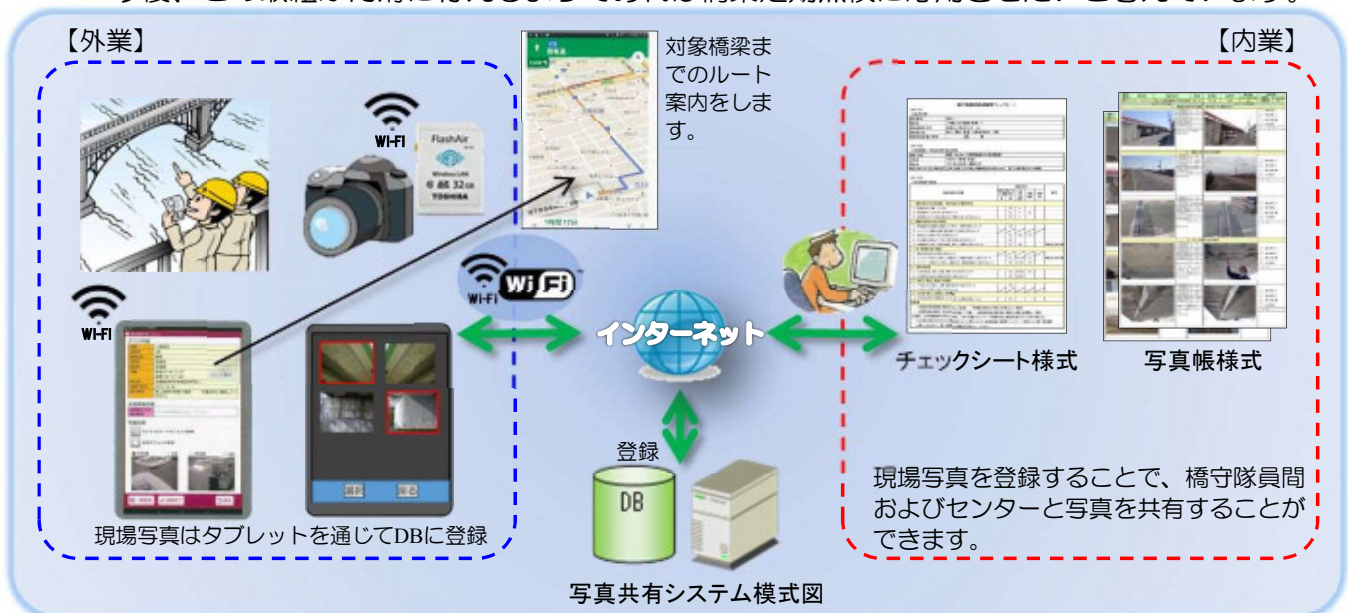


インフラメンテナンス グッドプラクティスの報告資料

5 効率的な活動に向けた取組

「ひょうご橋守隊」の活動をより円滑かつ効率的に行うため、タブレットを活用した経過観察に取り組んでいます。

今後、この取組が円滑に行えるようであれば橋梁定期点検に応用させたいと考えています。



6 連絡先

担当課：まちづくり推進部 市町計画課
 連絡先：【TEL】 078-367-1228
 【FAX】 078-367-1229
 【E-mail】 shichou_info@hyogo-ctc.or.jp



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センターとは
 ・兵庫県の安全・安心な社会基盤整備を総合的に支援することにより公共の福祉に寄与することを目的とした、高度な技術力と豊富な実績を有する公益財団法人
 ・平成8年4月の設立で出捐は兵庫県及び県内全市町